

授業科目	英語教科教育法Ⅳ				単位	2		
履修	選択	関連資格	中一種免(英語) 高一種免(英語)		ナンバリング	EN34112J		
開講年次	3	開講時期	後期	該当DP	DP4-3 DP5-2			
担当教員	西原 真弓							
授業概要	これまでに履修してきた専門教育科目や教職に関する科目等の中で学んだことを活かし、中学校及び高等学校に 教育実習に行ったときに、教師として自信を持って指導ができるようになるための総括を行う。また、生徒の実践的コミュニケーション能力の育成の手助けとなり得るような指導技術を身につける。							
学生が達成すべき行動目標	1. 各種指導技術の基本が理解できる。 2. 指導案についての基本を理解し、作成することができる。 3. 目標に沿った授業を計画し、それを実施することができる。							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	50	0	30	20	0	0	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)	30		20	10			60	
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)	20		10	10			40	
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
・英語教育に関する事柄や授業に必要なことを深く理解できる。 ・テーマに関して自分の意見を明確にもち、説得力のある表現力で主張することができる。 ・指導案の流れや内容について深く理解し、目標設定や目標達成のための活動を効果的に組むことができる。				・英語教育に関する基本的なことや授業に必要な基本的なことを入れることができる。 ・テーマに関して自分の意見をぼんやりともち、表現することができる。 ・指導案について理解し、指導案にそった授業が実践できる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)

1	テーマ: 日本の社会と英語・英語教育(1-4) 日本人の英語に費やす時間、英語教育の歴史に由来する特殊性について考える。	講義 演習	予習: 当該部分の予習 復習: レポート作成	90
2	テーマ: バイリンガリズムとアイデンティティ(5-7) 英語教師として生徒理解に必要なこととは何かを考える。	講義 演習	予習: 当該部分の予習 復習: レポート作成	90
3	テーマ: 英語教育の争点(8-10) 文法指導とシラバス構成について考える。	講義 演習	予習: 当該部分の予習 復習: レポート作成	90
4	テーマ: 英語教育の争点(11-14) 臨界期をめぐる論争について考える。	講義 演習	予習: 当該部分の予習 復習: レポート作成	90
5	テーマ: 英語教育の争点(15-19) 小学校英語と中学校英語の違いと連携について考える。	講義 演習	予習: 当該部分の予習 復習: レポート作成	90
6	テーマ: 英語教育のための基礎知識(20-22) 言語観・言語習得の変遷を理解する。	講義 演習	予習: 当該部分の予習 復習: レポート作成	90
7	テーマ: 英語教育のための基礎知識(23-25) チョムスキーの言語観について考える。	講義 演習	予習: 当該部分の予習 復習: レポート作成	90
8	テーマ: 英語教育のための基礎知識(26-29) 第二言語教育へのアプローチについて考える。	講義 演習	予習: 当該部分の予習 復習: レポート作成	90
9	テーマ: タスクを中心とした第二言語教育(30-34) タスクを中心とした授業の組み立てとメリットを考える。	講義 演習	予習: 当該部分の予習 復習: レポート作成	90
10	テーマ: タスクを中心とした第二言語教育(35-38) タスクを利用する授業のマネジメントを考える。	講義 演習	予習: 当該部分の予習 復習: レポート作成	90
11	テーマ: 4技能の効果的な養成(39-42) 4技能の関連について理解し、聞く、話す指導について考える。	講義 演習	予習: 当該部分の予習 復習: レポート作成	90
12	テーマ: 4技能の効果的な養成(43-45) 読むことの指導、語彙指導について考える。	講義 演習	予習: 当該部分の予習 復習: レポート作成	90
13	テーマ: 4技能の効果的な養成 書くことの指導について考える。	講義 演習	予習: 当該部分の予習 復習: レポート作成	90
14	テーマ: 指導案 指導案を作成する。	演習	復習: 指導案について考える	90
15	テーマ: 指導案のピアレビュー 指導案について発表し、コメントを出し合う。	発表 演習	予習: 発表の準備 復習: 試験の準備	90
16				
17				
18				
19				
20				

21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	『教育原理』、『教育心理学』で学修した知識。			
テキスト	『英語教育を知る58の鍵』 松村昌紀著（大修館書店）			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	『小学校学習指導要領解説外国語活動編』（平成29年）（文部科学省） 『中学校学習指導要領解説外国語編』平成29年）（文部科学省） 『高等学校学習指導要領解説外国語編』（平成30年）（文部科学省）			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	主体的に教育について考えてください。ディスカッションを通して英語教育に様々な事項について理解を深めることができるよう毎回授業に来る前に必ず教科書の該当部分を読んで、自分なりに調べ意見を持って授業にのぞんでください。			
達成度評価に関するコメント/課題に対するフィードバックの方法	試験: 授業で扱った事項に関する理解度を問うものである。 解答例を後日配布する。 レポート: 毎回の授業で討論した内容を踏まえ自分の意見をまとめておく。それを最終的に提出する。 コメントをつけて返却する。 発表: 最後に指導案を作成し、そのねらいや達成のための工夫について発表する。 授業内でコメントをする。			

